

様式

技術名称	カルシア改質土	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	中部地整へ申請予定 (2015年6月頃)
会社名等	カルシア改質土研究会	担当者	赤司 (新日鉄住金)	連絡先	0439-80-2556
技術の概要	カルシア改質土は、粘土・シルト分の多い軟弱な浚渫土にカルシア改質材(原材料:転炉系製鋼スラグ)を混合し、浚渫土の物理的・化学的性状を改質した材料で、強度増進・濁り抑制・海域底質浄化等の効果を有し、浅場干潟造成・浚渫窪地埋戻し・埋立て等に活用できる。	添付資料	パンフの有無	有	
			その他の資料		
技術の特徴	<p>浚渫土にカルシア改質材(転炉系製鋼スラグに成分管理と粒度調整を施した材料)を混合することで、浚渫土を物理的・化学的に改質し、強度増進効果・濁り抑制効果・海域底質浄化効果により、海域環境改善材や埋立て材として適用可能。</p> <p>また、カルシア改質材が粒状材料であるため、混練技術として「管中混合工法」、「連続式ミキサー混合工法」、「バックホウ混合」、「リクレーマ混合工法」といった多様な工法を活用でき、かつ濁り抑制効果により「底開バージ等での海域直投」も可能のため、数千m<sup>3</sup>/日の大量施工が可能。</p> <p>【期待効果】</p> <p>1)浅場・干潟造成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・波浪や潮流に対する巻き上がり、濁り、流出の抑制</li> <li>・覆砂や藻場造成材の沈み込み抑制(メンテナンス費用の削減)</li> <li>・赤潮、青潮の原因である浚渫土からのリンや硫化物の発生抑制</li> </ul> <p>2)深掘り窪地埋戻</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・波浪や潮流に対する巻き上がり、濁り、流出の抑制</li> <li>・覆砂の沈み込み抑制(メンテナンス費用の削減)</li> <li>・赤潮、青潮の原因である浚渫土からのリンや硫化物の発生抑制</li> </ul> <p>3)埋立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋立て工期短縮(揚土後の地盤改良が不要)</li> <li>・埋立てコスト削減</li> <li>・沈下抑制</li> <li>・堤防材や盛土材といった付帯設備造成材料としても活用可能</li> </ul>	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適用可能な範囲 シルト・粘土分が多い軟弱浚渫土(細粒分含有率<math>\geq 30\%</math>)</li> <li>・適用が困難な範囲 水和固化反応の阻害因子である水(含水比)や有機物(強熱減量)を多く含む浚渫土</li> </ul>		